

令和4年度第2回新津第五圏域圏域支え合いのしくみづくり会議報告

日時：令和5年2月13日(月) 10:00～11:30

会場：新津地域学園304号室

【出席者】

満日コミ協：小池満日社会福祉特別部会委員 新津東部コミ協：馬場福祉健康部委員
阿賀浦コミ協：高橋社会福祉部副部長 新津東部地区民生委員児童委員協議会：小林会長
新津阿賀地区民生委員児童委員協議会：山田副部長 老人クラブ新関地区協議会：堤会長
NPO 法人たか坪の会：上杉副理事長 包括にいつ日宝町：遠藤所長
秋葉区健康福祉課高齢介護担当：今井係長、林副主査
秋葉区社協：横山補佐(事務局)、吉岡 SC

【内容】

1 満日地区

今年度の取り組みと評価	課題と来年度に向けて
<ul style="list-style-type: none">・ 買物支援の実施(参加者9名) 12月6日に試行運行 雪で20日の試行運行中止 →一回しか試行運用できなかった。 →参加された方からは喜びの声が聞かれた。・ ふるさと健康講座の実施 毎月一回第一金曜に実施 →顔ぶれが変わらない。・ 認知症講座(全3回) 今年度予定していた認知症講座3回目が終了した。 予定していたよりも参加者が少なかった。 3回だけでは不十分。まだ地域に住む人への理解には遠い。・ 満日声かけ訪問の実施	<ul style="list-style-type: none">・ 買物支援に関しては今後も継続 当初の予定通り3月から本実施予定。 3月の本実施2回を終えた時点で参加者から集まっていたいただき意見交換を行う。 →参加者の要望等の意見を聞いた後、福祉施設側と今後の実施等について検討する。・ ふるさと健康講座 若い人の参加を期待して次年度は開催日を第3土曜日にする。・ 認知症講座 認知症の理解を進めるため、今後どう広報していくか、内容も含めて検討していく。・ 見守り訪問をする中で、ゴミ出しに困っている世帯があった。今後考えていかなければならない課題である。

	<ul style="list-style-type: none"> ・休日親子ふれあい広場 世代間交流を目的に、旧満日小学校体育館とミーティングルームを開放し親子または孫と自由に遊べる日を設定する。
--	---

2 新津東部地区

今年度の取り組みと評価	課題と来年度に向けて
<ul style="list-style-type: none"> ・「初夏の新津川を歩きましょう」は若い方から高齢者まで多世代に渡り昨年を上回る200人の参加があった。 →初夏だけでなく秋もやってほしいと要望があった。大好評だった。 ・アンケートの実施（自治会・町内会長、民生委員児童委員、福祉委員対象） 相談一覧表を作成した。 ・ふれあい健康づくりの集い 参加する人の顔ぶれが変わらない。 開催して14回目なので長くやっていることの評価はできるが内容や野外での活動など考えてもいいのではないか。 ・たか坪の活動 →たか坪参加者のほかに、一人暮らしや二人ぐらしの高齢者世帯対象として弁当を配布している 困りごとを受けた際には、除草・薬の受け取りなどしている →町内会へ提案 除雪等の困りごとを地域に発信している。側溝の穴が大きく子どもの足がはまってしまう可能性があり行政につなげ改善してもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「初夏の新津川を歩きましょう」は来年も継続予定だが要望にもあった年2回にはせず今まで通り1回の実施。 ・アンケートの取り組みについて →次年度も継続して困りごとの解決への検討を行っていく。 ・ふれあい健康づくりは中身の検討、活動をふくめたイベントをしたらどうかと考えている。 ・コロナで状況が変わってくる →次年度5類となった時の動きが読めない。状況によっては復活したいイベントもある。 ・空き家問題に関しては調査したが踏み込めない所があり調査したのみ。 →持ち主がわからないなど、専門家をお願いする事案になりこれ以上は進まなくなった。

3 阿賀浦地区

今年度の取り組みと評価	課題と来年度に向けて
<ul style="list-style-type: none"> ・緊急情報キットを使った見守り活動 自治会・町内会で新たな世帯に緊急情報キットを配ろうと、回覧板で回したが、読んでほしい人の目に入らず次に回ってしまうことがわかった。 ・緊急情報キットの配布は進んでいるが、更新作業が中々できない状況である。 ・高齢の方から除雪が大変だという声があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急情報キット配布方法及び更新作業の検討。 ・除雪の課題について、今後協議していく。

4 新関地区

今年度の取り組みと評価	課題と来年度に向けて
<ul style="list-style-type: none"> ・防災への取り組み ・除雪問題 小口：除雪ボランティア活動を実施 ・草木問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災への取り組みは次年度も継続して行う。 ・市道・県道はあるがそこから外れると細い道で除雪がとても大変。体制作りについて検討が必要である。 ・福島豪雨の影響が過去にあったことから、しっかり避難訓練などやっていかなければいけない。

5 圏域全体

今年度の取り組みと評価	課題と来年度に向けて
<ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動について、民生委員児童委員として75歳以上の高齢者は把握することができるが、75歳未満の障がいの方の把握が困難である。地域等からの情報をもらえないと気付くことができない。 ・除雪など町内での困りごとに対応できる3層のコーディネーターがいるといい。 ・以前除雪をしてくれる業者のリストをいただいていたが(地区民協定例会)3年程前から配布されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困りごとを抱えている75歳未満の障がい等世帯を把握し、支援につなげるか考えていく必要がある。 ・新潟市外で、親子(息子が親の介護)が自死する事件があった。民生委員児童委員も含め地域が把握できない困っている世帯をどう見守っていくかしくみがあると良い。 ・以前実施していた除雪業者リストについては把握をしていない為、次回会議で説明する。(区健康福祉課)

今後除雪問題で地域の対応が難しい時に伝えたいのでリストを改めていただきたい。

- 除雪で困っている世帯が多くあり、ケア会議でも課題としてあげた。今後社協としての取り組みについて考えを伺いたい。

- 避難行動要支援者について地域で話し合いをしている。

- ゴミ出し事業について利用できる世帯の内容が変更されているのか。

- 社協として、除雪については助成を含め、取り組みの検討の支援をさせて頂いている。取り組みについては時間を要するが、地域の皆さんと考えていきたい。

- 避難行動要支援者について、どう対応していくか地域で考えていく必要がある。

- ゴミ出し事業は新津清掃社が社会貢献として行っている。地域での支え合いや、介護サービス等を含めて地域と話し合いながら進める。(基本は自治会・町内会の取り組み)

